

梅ヶ島 山の声



～ 梅ヶ島出張所通信 ～

コノハスっくん



「下流域の児童が大谷で植樹体験と化石探しに挑戦！」

9月27日、賤機中、賤機北、松野小学校5年生の児童26名が大谷山腹で植樹体験と化石探しに挑戦しました。当日は朝から快晴で、小さな苗木の植え込みに、気持ちを込めて作業を行っていました。今回の体験は、流域の子供達に安倍川上流から下流までの川の特徴を学んでもらうことを目的に行われたもので、梅ヶ島災害50年企画の一環でもあります。



植樹会場へは工事用モノレールで移動しましたが、初めて乗るモノレールに子供達は歓声を上げていました。普段は立ち入ることのできない安倍川源流の自然に、足をすくませる子もいましたが、「植えた苗木が大きく育てば山崩れを防ぎ、みんなの命を守ることができる」と感想を話していました。また、砂礫が堆積する大谷川では化石探しを行いました。今回は残念ながら大発見とはなりませんでしたが。



昼食後、大谷崩れを移動し、大河内小中学校前で川の生物調査を大河内学区自治会連合会の三浦会長の指導で行いました。仕掛けたわなにはハヤがたくさん掛かっていました。



大谷山腹工事現場を関係機関と合同調査

9月28日、大谷山腹工事現場を警察、消防関係者と合同で現地確認調査を行いました。本調査は、急峻狭隘な険しい現場を、関係機関と事前に確認することで、緊急時に迅速な連携を図ることを目的に取り組みました。

大谷嶺をはじめ、周辺には山伏、八紘嶺などへの登山ルートがあり、過去には登山者の迷い込みが発生した事例もあるそうで、当現場の状況を把握しておくことは非常に有意義だと話していました。



標高1700mに位置する山腹工事現場で現地状況を確認

8、9月で6個の台風が日本上陸、管内も大雨に

雨が多かった9月ですが、気象庁「梅ヶ島」雨量観測所の9月の雨量は27日までで627mmを記録し、平年雨量462mm(1981～2010)を上回る降水量となっています。【気象庁HP:静岡県の過去の気象データより検索】

台風13号接近に伴う降雨では、8日午前大雨洪水警報が発令され、さらに静岡北部に**土砂災害警戒情報**が発表されるなど大雨となりました。小康状態となった午後には管内施設の臨時点検を実施し、異常がないことを確認しています。梅ヶ島出張所では202mmの累加雨量を記録しました。



8日14:10 湯の島えん堤の状況



8日15:45 大河内えん堤の状況

また、19日から20日にかけて台風16号の接近により再び大雨となりました。20日16時30分には葵区に**避難準備情報**が発表されましたが、20時頃には雨も止みはじめ21時には避難準備情報も解除されました。翌21日には管内砂防施設、主要溪流を点検し異常がないことを確認しています。梅ヶ島出張所の雨量計は222mmの累加雨量を記録しました。



梅ヶ島出張所では累計222mmを記録



21日8:20 大ザレ護岸の状況

編集後記

9月25日で梅ヶ島の土石流災害から50年、今月は、直撃こそなかったものの、次々に発生する台風に幾度も気持ちが引き締められました。幸い管内に被害がなかったことが何よりです。そしてこの秋、出張所の構内にイワシャジンが咲きました。花言葉は「感謝」、「誠実」だそうです。50年の節目に語りかけているようです。



皆様からの情報やご意見を募集します。

Tel:054-269-2003、E-mail:http://www.cbr.mlit.go.jp/shizukawa/05_jigyuu/02_office/toiawase.html



イワシャジン